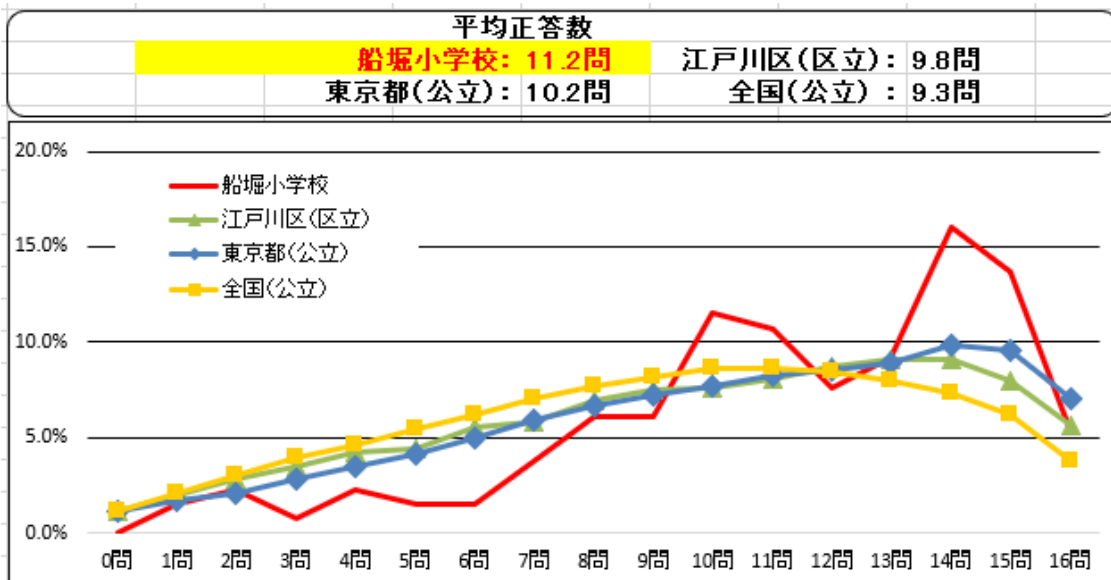


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【算数】船堀小学校

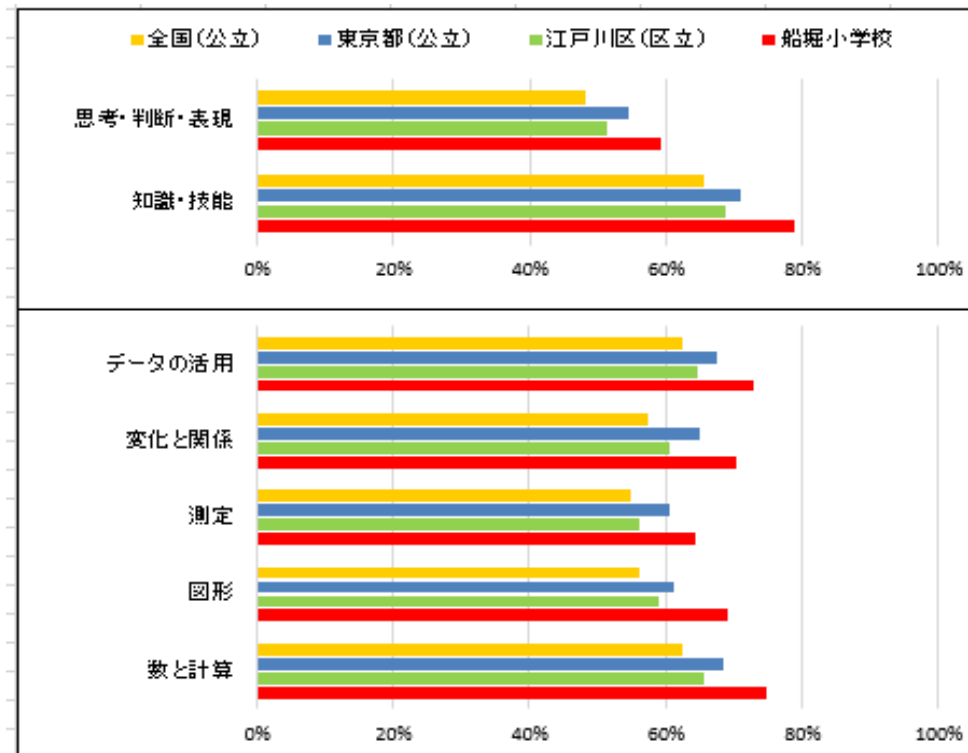
正答数分布



分析結果

- ・全国・東京都・江戸川区の平均をいずれも上回っており、平均すると基礎的な学力は身に付いていると考えられる。
- ・グラフからは、11問～13問のところが低くなっていることから、上位層の二極化の傾向が見られ、活用力に課題があることが分かる。
- ・「知識・技能」領域に比べて「思考・判断・表現」領域が低いことから、理由を説明したり、問題に書かれた情報を整理して解決したりすることが苦手な傾向がある。
- ・「測定」「図形」領域では、単位の関係や図形の構成要素の理解が不十分と思われる誤答が見られた。
- ・どの問題においても、「説明する」「複数の条件から考える」問題では、無回答率が高いことから、書くことやじっくり考えることが苦手な児童がいることが分かる。

「領域別」の結果



授業改善に向けて

- ・基礎基本の定着に向けて繰り返し学習を積み重ねる。
- 【ドリルパーク・スタディウイーク・放課後補習教室の活用】
- ・答えを出すだけでなく、「仕組みを説明する」「きまりや法則を見つける」等の考え方を表現する活動を授業に取り入れる。
- ・実態に応じた教材を用意したり、デジタル教材を活用したりして、どの児童も「分かる」授業を展開する。
- 【習熟度別指導・デジタル教科書の活用】
- ・国語科とも連携して「問題を正しく読み取る力」を身に付ける。